

9月30日(火)

# 稲刈り

5月に田植えをした学校田も、沙魚川さんに水の管理や草刈り等のお世話をしていただいたおかげで、実りの季節を迎えました。9月30日の稲刈りには、前回同様、お忙しい中、二上営農組合のみなさんや地域の方々が多数お手伝いに来てくださいました。3年生と5年生の子供たちも、汗を流しながら一生懸命に稲刈りを行いました。

お手伝いに来てくださった地域の方々です。はじめに、稲刈りの仕方を営農組合の沙魚川さんに教えてもらいました。



5年生は笠懸をするため、稲の束の縛り方を教えてもらいました。



あんなに小さかった苗が育ち、たくさんの実をつけています。地域の方に教えてもらいながら、子供たちも一生懸命に稲刈りをしました。



刈り取った稲をコンバインに運ぶお手伝い。たわわに実った稲は重くて大変でした。校長先生也大活躍です。



最後に、コンバインで残りの稲を刈りました。あっという間に刈り取られていくのを見て、子どもたちは、「機械はすごい。」と驚きの声をあげていました。5年生は、「機械がなかったときは、全部手でやっていたんだな。なんて大変な作業だったんだろう。」と感想を話していました。11月のもちつき大会には、今回刈り取ったもち米が使われます。お世話になった方々に感謝していただきたいものです。

また、5年生は、刈り取ったわらを使い、「ものづくり・デザイン科」の学習で、縄なひをする予定です。

5月に田植えをしたのにもう9月になったのは早いなと思いました。5月の田植えで、小さな苗を植えた後、社会の勉強で観察したときは、まだ実がなっていませんでした。稲刈りのときはたくさんの実が実っていて全然違うなと思いました。稲を刈るときは、農家の人がお手本を見せてくれて、簡単そうに思いました。でも、やってみると難しかったです。「鎌を斜めにすると刈りやすいよ。」と教えてもらいました。そうすると刈りやすくなって、どんどん刈れるようになってきました。(3年 児童)